

山形県公立大学法人 教育振興会会報

米沢栄養大学・米沢女子短期大学のオープンキャンパスをコロナ感染対策を講じて開催しました！



学長あいさつ（栄養大）



学科紹介（短大）



模擬授業・教科書等展示（短大）



創作サークルがデザインした
オープンキャンパス用バッグ



令和3年度 No.2

〈通巻第171号〉

令和3年10月1日発行

〈発行所〉
山形県公立大学法人 教育振興会
〒992-0025 山形県米沢市通町6-15-1
電話 0238(22)7330(代)
FAX 0238(22)7333
〈印刷所〉 有限会社 富士印刷

キャリア支援センター便利

就職支援

学内合同企業説明会／インターンシップ
キャリア支援センター 参与（兼）副センター長
布施 信男

今年度は、昨年度に引き続きコロナ禍の制約の中での取組みとなりました。
例年、短大生を対象に6月に行っている「学内合同企業説明会」をこれまで卒業生の就職実績のある県内外の企業を中心に、3密対策の観点から参加企業数を厳選し、6月、7月の2回に分けて対面で開催いたしました。本説明会は、最近主流となっているWebによる企業説明会とは異なり、学生にとっては参加企業の方から直接生の話を聞くことが出来るまたとない機会となりました。秋にはもう一度短大生を対象とした説明会を、さらに冬には栄養大生を対象とした説明会の開催を予定しておりますので、この機会を逃さず有効に活用していただきたいと思ひます。
「インターンシップ」については例年、夏休み期間中の8月～9月に実施しており、実社会において就業体験を行うことにより、自己や仕事を知り、将来の自分の適性を見極め、職業選択に役立てることを目的としています。希望する企業や官公庁に3～7日間程度出向し就業体験を積むわけですが、昨年度は、新型コロナウイルス感染症のあおりで受け入れを中止した自治体が続出したが、幸い今年度は地元米沢市役所を始めとして、計20名の学生に対しては、事前説明会の開催や外部講師によるビジネスマナー講座などを通して、安心して就業体験ができるよう支援を行い、送り出ししております。
今回学んだ実践的な経験を今後の職業進路選択に役立てていただけたらと思ひます。



令和3年度インターンシップ受入状況（官公庁等）

短大	県内	山形県村山総合支庁(1)、山形県村山総合支庁北村山地域振興局(1)、山形県教育庁(1)、山形県立図書館(2)、米沢市役所(5)、村山市役所(2)、大江町役場(1)、米沢市立米沢図書館(3)、公益財団法人山形市スポーツ協会(2)、株式会社ニューメディア(1)	19名
	県外	陸前高田市役所(1)	1名

(注)官公庁等、キャリア支援センターを通して申し込まなければならない職場を中心とした参加者の人数である。

令和3年度学内合同企業説明会開催状況（夏季）

	開催月日	参加企業数 (団体・社)	参加 学生数(人)
第1回	6月21日(月)	11	35
第2回	7月5日(月)	8	22
合計		19	57

基礎的・汎用的能力について



キャリア支援センター主任
青木 和人

キャリア支援センターに勤務し二年目となり、青木と申します。昨年度に引き続き、今年度に入り、六月と七月に合せて二回、県内企業を中心に人事採用担当者や学内にお招きし、当センター主催の学内合同企業説明会（短大）を実施いたしました。その折、各企業の方々から「採用する際に重視すること」と「コミュニケーション能力」を第一に選択していただきました。アンケート結果を「コミュニケーション能力」とおっしゃるが、企業は具体的にどんな力を学生に求めているのだろうか」と話された先生がおられました。その先生の言葉が気にかかっており、この誌面を借りて調べてみたところ、この誌面をお借りして簡単にまとめておきたいと思ひます。
平成二十三年（二〇一四年）一月三十一日に中央教育審議会（以下中教審と記す）が「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」を公表し、学校から社会・職業への円滑な移行に必要な力として「基礎的・汎用的能力」を提示しました。「基礎的・汎用的能力」についての解説として以下のような記載があります。「企業が新規卒者に期待する力は、就職の段階で『即戦力』といえる状態にまで学校教育を通じて育成することを目指すわけではなく、一般的には『コミュニケーション能力』等、基礎的な能力を挙げることが多い。社会人・職業人に必要とされる基礎的な能力と現在学校教育で育成している能力との接点を確認し、これらの能力育

成をキャリア教育の視点に取り込んでいくことは、学校と社会・職業との接点を考える上で意義がある」と記されています。

「現在学校教育で育成している能力」とは、平成十九年の学校教育法改正で第三十条第二項に掲げられた、いわゆる学力の三要素、すなわち、「基礎的な知識及び技能」「これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」と捉えることができます。企業が求める基礎的な能力と、学力の三要素の接点を確認し、その上で育成すべき能力として提示された能力が「基礎的・汎用的能力」であり、具体的には「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の四つの能力が掲げられています。

平成二十六年（二〇一四年）十二月十二日に中教審は「新しい時代にあふらしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について、すべての若者が夢や目標を芽吹かせ、未来に花開かせるために（答申）」を公表しました。その中で学力の三要素について、社会で自立して活動していくために必要な力という観点から捉え直し、高等学校を通じて、「主体性（主体性・多様性・協働性）を養うこと」を第一に掲げ、「思考力・判断力・表現力等の能力を育むこと」が続き、最後に「その基礎となる知識・技能を習得させること」が記されており、大学においては、これを更に発展・向上させるとともに、これらを総合した学力を鍛錬すること」とあります。

企業が求める基礎的な能力と学力の三要素の接点となる「基礎的・汎用的能力」を構成する四つの能力について、学生の皆さんは小学生の時から、これまで十数年の学校生活を通して、多かれ少なかれ培ってきたのではないかと考えられます。キャリア支援センターとしては、学生一人ひとりが持つその能力を存分に引き出すことができるよう面談を繰り返して、学生自身がエントリリーシートの作成に活かして、面接に自信を持って臨めるようサポートしていきたいと思ひます。

秋の夜長に



山形県立米沢栄養大学
山形県立米沢女子短期大学
学長 阿部 宏慈

蝉の声が消え、虫の音の集く頃ともなれば、涼風を頬に受けながら、秋の夜長を本のページをめくりながら、静かに過ごす、そんな心持と言え、ひどく古めかしき感じられましようか。今なら、枕元にあるのは、さしずめスマホかタブレット端末で、好きな小説や漫画のページを繰るのも、素早い指の一撫でとなるでしょう。電子書籍であれ、映像であれ、好きな世界にひたって、疲れた心を癒し、魂に栄養を注ぎたいところですね。
というわけで、本日は、そんな秋の気配を、できれば松川の河原でいも煮の鍋でも囲みながら、学生教職員みなで心ゆくまで楽しみたいところだったのですが、新型コロナウイルスの感染拡大は、いまだ収まる気配もなく、新学期もまたその影響のもと、本来の大学生活の喜びとはいささか遠いところにとどまらざるをえません。
それでも、一学期の間、何とか対面を基本に授業や演習をおこなってまいりました。教育は、学びは、人間的な時間と空間の共有を根幹となしているという思いが私たちにはあるからです。しかし、そのために、マスクの着用やパーティションの設置された食堂での黙食、手指消毒の徹底といった感染対策をお願いし、皆さんには大きな負担を強いることになりました。このような状況が一日も早く収束することを祈りつつ、教育振興会の皆様にはなお一層のご支援ご助力をお願いし、新学期のご挨拶とします。

せきれい

本学に赴任して30年が経過した。赴任して間もなく、某先生の一言がきっかけで山歩きをするようになった。最初は山岳会の先輩方から吾妻・朝日・飯豊の山々に連れて行ってもらった。つまり、学校でいえば、授業を受けた。授業を受けた後、必ず、そのコースを一人で歩いた。つまり、復習をした。さらにレベルアップするには予習が必要である。自分にとって未知の山域を単独で歩くようになった。夏山を自由に歩けるようになる、積雪期の山でアイゼン・ピッケルを使ったり、または、山スキーで行動する「授業」を受けた。その後、復習・予習で行動範囲を広げていった。

外国語を仕事にしていることもあり、15年くらい前から、春と夏に海外の山や国立公園に出かけるようになった。イングリッシュ・トレイル（2週間）、ヨーロッパ・アルプス地域徒歩横断（これまで100日くらい歩き、ゴールのモナコまで、残り40日くらい）、日本では本州徒歩横断中（新潟県親不知〜これまでは南アルプスの仙丈ヶ岳。そして、今年5月、4年前から歩き始めた「みちのく潮風トレイル（八戸〜福島県相馬1025キロ）」を全線踏破した。日本・世界各地で多くの方々と出会い、多くの親切を受けた。

米沢女子短期大学 英語英文学科
准教授 横山 利夫

事務局からのお知らせ

後期分授業料につきましては、すでにお渡ししてある納入通知書をお使いの上、10月29日(金)までに納入くださいますようお願いいたします。

	学部	授業料		学部	授業料
短大	国語国文学科	195,000円	栄養大	健康栄養学部	267,900円
	英語英文学科				
	日本史学科				
	社会情報学科				

編集後記

暑さの厳しかった夏も終わり、日増しに秋の深まりを感じる季節になりました。引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、学生の皆さんのサポートをさせていただきます。さて、次号では臨地実習など各種実習の体験談や進路状況等をお送りする予定です。肌寒い日が続いていくと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。（書記 原恵美子）

